

信頼される質の高い教員の育成

令和元年7月22日(月)
ホテルポートプラザちば

秀明大学教育研究所
(学校教師学部)
百瀬 明宏

質の高い教員育成に向けて

高校

• 発信(教員の魅力発信)

大学

• 養成(教員の実務養成)

県

• 採用(採用選考の改善)

県

• 育成(研修の活用・拡充)

質の高い教員育成に向けて



現状

<国>

- ・中央教育審議会教員養成部会
これからの時代の教員の在り方及び養成・採用・研修・免許等の課題について
- ・教育再生実行会議第十一次提言（令和元年5月17日）
「技術の進展に応じた教育の革新、新時代に対応した高等学校改革について」
 - ・教師の在り方や「外部人材の活用
 - ・教師の養成・研修・免許の在り方など
- ・経済同友会提言（2019年4月3日）
 - ・教員養成・研修制度、教員免許制度の抜本改革
△ファシリテーション・スキルの向上に重点が置かれていない⇒「教育の方法と技術」の充実

<県>

教員育成指標及び研修体系の策定



教師希望者の進路決定要因

- ・教員志望のきっかけは中学校時代
- ・担任及び教科担任の影響が大



高校進学時が教師への第一歩

《提言》

- ① 教員基礎コースの拡充
- ② 高校生対象の教員養成セミナーの開催

質の高い教員育成に向けて



教員の養成（大学）

<現状>

- ・ちば教職たまごプロジェクト

《提言》

- ① 教師養成塾（仮）の設置
- ② “たまプロ”の拡大
- ③ 県教委と大学との定期的な協議

質の高い教員育成に向けて



《提言》

① 教師養成塾（仮）の設置

- ・対象：大学生で本県教員を希望する学生
- ・内容：総合教育センターでの実践的研修
- ・実践：現場実習の充実
- ・配慮：採用選考での特別選抜を実施

② “たまプロ”の拡大

- ・高校（地域連携アクティブスクール等）での実施拡大
- ・実施校での指導の充実

質の高い教員育成に向けて



《提言》

③ 県教委と関係大学等との定期的な協議会の開催

- ・内容：育成指標等の見直しを含め、教員の養成・採用・育成全般
- ・回数：年1回程度
- ・参加者：県内教員養成課程を有する大学と県教委

質の高い教員育成に向けて



採用選考

<現状>

人物重視の採用選考（1次選考でも面接試験）

《提言》

学校種に応じた選考内容のさらなる工夫改善

- ・専門性の担保（特に高等学校の教科指導力）
- ・学校種に応じた資質能力

質の高い教員育成に向けて



育成（研修）

＜現状・課題等＞

- ・育成指標・研修体系による研修
- ・研修成果の蓄積と還元策の不明確さ
- ・長期研修制度の縮小化によるリーダー層の減少
- ・更新講習と県の研修との関係性の整理
- ・ステージⅢ以降の教員の役割と研修の在り方

質の高い教員育成に向けて



育成（研修）

《提言》

① 研修履歴の活用

- ・教員型ポートフォリオの作成
- ・研修の成果と業務と関連性を持たせた人事管理の推進

② ステージⅢ以降の新たな研修の創設

- ・教職後半期の研修の在り方の検討及び創設
(定年延長を見据えた教職後半期の研修の必要性)

質の高い教員育成に向けて



魅力ある学校教育のために・・・

〈現状と課題〉

- ・よりよい教育環境の整備(魅力ある職場に)
- ・県立学校でのICT環境の整備状況
- ・多様な児童生徒への指導体制
- ・働き方改革の実効性
- ・リーダー教員の育成に向けた取組
- ・管理職の希望者の減少
- ・高い企画力と行動力を有する人材の管理職への登用
- ・魅力ある学校づくりのための人事管理の改善

質の高い教員育成に向けて



魅力ある学校教育のために・・・

《提言》

① 県立学校におけるICT環境の早急なる整備と 研修の充実

- ・PC、電子黒板、WiFi環境などの整備
- ・総合教育センターの充実 など

② チーム学校の充実に向けた人員配置

- ・日本語を母語としない児童生徒への対応（日本語指導員などの増員）
- ・障害のある児童生徒への対応

③ 管理職の魅力発信と人事管理の改善

- ・管理職の魅力発信（中堅層の育成、抜擢など）
- ・配置年数の工夫（重点校などへの長期配置の検討）
- ・教員の人事管理の改善（柔軟な在職年数、特色化に対応した人事など）